

# 第12回 吉永邦治展

～風・香・音・夢、そして歓喜～

2012年11月28日(水)～12月4日(火) 最終日午後4時終了  
山形屋画廊(3号館3階)

## 個展に寄せて

川の流れるは、一見水面が穏やかな流れのように見えても、水中は想像以上に急な流れで、押し流されることもある。

川の流れるような時代にある2012年も、移ろいゆく季節とともに師走を迎える頃となりました。私にとりまして、厳しい自然環境のなかにあつて、画家にとって描くという行為、すなわち想像する、智する、考えるということ、その意味が問われた2012年であったかと思われまふ。

今展は、私自身の『創造するところ』を育んでくれた「風・香・音・夢そして歓喜」をテーマにと考えました。東洋独特の造形を求めて、インドをはじめ、中近東、シルクロード等、また南米各地を旅して、描き続けてきた、なつかしい風土・風俗・うるおう人物・はずむ飛天などの作品群で構成いたしました。

今回、吉永邦治の絵画について、ながい年月を重ね、小林典子先生にメッセージいただいた文章を「吉永邦治の創作風景」という形にいたしました。

この「創作風景」を通して、東洋の人びとの心への旅の想い、映り輝くかいまみた世界、その場の情景・・・それらを技に託した創作への思いとロマンを感じていただければ幸いです。

ご高覧賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

2012 晩秋

吉永邦治